

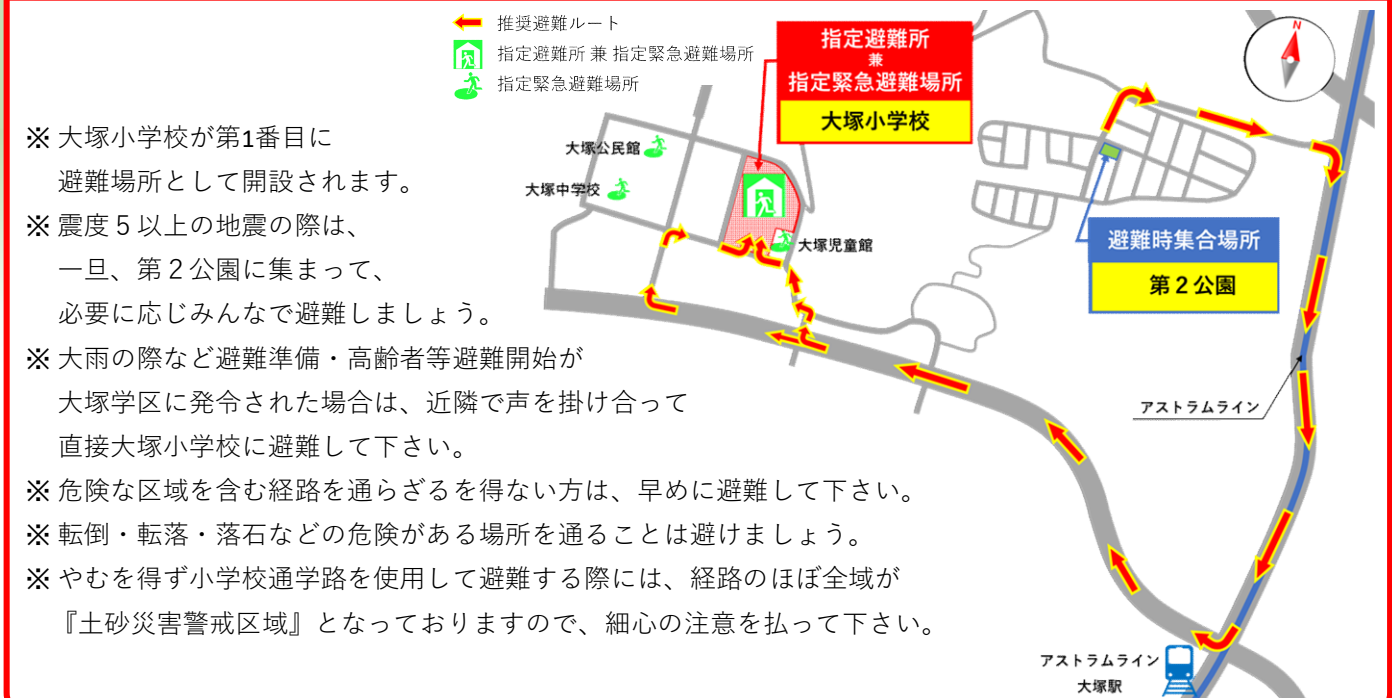
下城ハイツ 防災マップ

作成： 令和3年1月
作成者：下城ハイツ 自主防災会

保存版



災害発生時避難場所 および 推奨避難経路



※ このマップは、広島市防災まちづくり基金を活用した防災まちづくり事業により作成したものです。

※ 裏面もご覧ください。

「心理的特性」と「避難行動」

「これくらいの雨なら大丈夫だろう」、
「周りがまだ避難していないから避難しない」ではなく、
『周りに声をかけて避難する』

人間は、自分が危機的状況にあっても避難行動をとれない場合があります。
その要因の一つは、危険や脅威を軽視したり、事態を楽観視したり、自分だけ
は大丈夫と錯覚するような心理状態になるからです。

この心理状態は誰もがなりうる可能性があります。自分の命や、大切な家族の
命を守るために、この心理的特性を理解し、適切な避難行動を取りましょう。



避難情報の 発令区分

市が発令する避難情報と、気象庁が発表する防災気象情報は5段階の「警戒レベル」
で発令されます。それぞれレベルに応じた避難行動を確認しておきましょう。

警戒レベル 1

早期注意情報

警戒レベル 2

大雨注意報
洪水注意報

警戒レベル 3

高齢者等は
避難
避難準備
高齢者等避難開始

警戒レベル 4

すぐ避難！
避難勧告
避難指示（緊急）

警戒レベル 5

命を守って！
災害発生情報

最新の
防災情報を
入手



危険箇所、
避難場所、
避難経路
の確認

避難
に時間がかかる
人は避難開始。
その他の人は
避難の準備



非常持ち出し
品を持って直ち
に避難

屋外への避難が
不可能な場合も
緊急に命を守る
行動を！

公的避難所
(市が開設する避難所)

災害に適合する
指定緊急避難場所を開設
(原則、小学校区に1カ所開設)

避難場所を
順次追加開設

避難所での新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください

- 非常持ち出し品にマスク・除菌シートを追加し、避難所では咳エチケットの徹底、手洗いを頻繁にしましょう。
- 避難所の過密状態を防ぐため、可能な人は安全な場所にある知人宅への避難を事前に検討しましょう。

地震が発生した時に気をつけること。

- ①まず身の安全を
- ②揺れがおさまったら火の始末
- ③出口を確保
- ④すばやく消火
- ⑤ガラスに注意
- ⑥あわてて外に出ない
- ⑦落下物等要注意
- ⑧協力し合う
- ⑨声を掛け合う
- ⑩正しい情報入手

情報の入手方法は？

広島市では、防災情報メールや防災行政無線、テレビのデータ放送、市防災ポータルや避難誘導アプリなどで避難に関する情報を発信しています。防災情報メールと誘導アプリの登録方法は下記をご覧ください。またテレビやラジオなども有効です。

広島市避難誘導アプリ

避難所へGo! ご利用は無料

広島市避難誘導アプリ「避難所へGo!」は、災害が発生する前に適切な避難行動を行っていただくための防災アプリです。避難勧告などの緊急情報はもちろん、現在地の危険度や、最寄りの避難所へのルートを確認できます。

浸水想定区域等のハザードマップが確認できる

QRコードからアクセス



最寄りの避難所への最短ルートがわかる

道を外れても再検索して表示



【市防災情報メール登録方法】

登録を希望される方は、配信を希望する携帯電話、またはパソコンから登録用メールアドレスに**空メール（件名や本文のない電子メール）**を送ってください。しばらくして、返信メールが届きますので、本文に記載されている登録用ホームページに接続して、案内に従って登録してください。

※迷惑メール防止機能を設定している場合

広島市防災情報メールは、【info@k-bousai.city.hiroshima.jp】から登録用返信メールが配信されます。登録の際には、空メールを送る前に【info@k-bousai.city.hiroshima.jp】からの返信メールを受信できるよう、あらかじめ設定しておいてください。

登録用メールアドレス

entry@k-bousai.city.hiroshima.jp



携帯電話、スマートフォンは左のコードをご利用ください。

このマップは広島市防災まちづくり基金を活用した防災まちづくり事業により作成したものです。